

アースガイアクリーンのガソリンスタンド・整備工場内での使用方法

<<あらかじめアースガイアクリーン原液を10希釈して用意して置いて下さい>>

|ガソリン・軽油・灯油等対象とした使用方法です

GS:ガソリンスタンドの略称

給油中にボディにこぼした場合	スプレーボトルに10倍希釈液を入れ、こぼれた場所にスプレーしてウエス等でふき取る
給油中に地面にこぼした場合	ジョッキ・バケツ等に10倍希釈液を作り散布します。その後デッキブラシ等でブラッシングしてから水で洗い流す
オイル交換等で油をピット室にこぼした場合	少量の場合は10倍希釈液を拭きかけてブラッシング又はウエスでふき取る 大量の場合はウエスまたは吸着マットで拭き取り10倍希釈液を散布し、ブラッシングしてから水で洗い流す。
計量器廻りの油汚れの清掃	バケツ等に希釈液を入れ雑巾で計量器を拭き取る、汚れのひどい場所はスプレー等で吹き付け、すり洗いしてから拭き取る。
計量器下のコンクリートの清掃	希釈液を十分に散布してブラッシングする。特に軽油の計量器の下は油汚れがひどくなっています。
エンジンルームの油汚れを落とす	希釈液を従来のクリーナーと同様にスプレーしてからウエス等で拭き取る 汚れのひどい場合は少し時間をおいてから拭き取る
工具の清掃	バケツに希釈液を入れ、工具類をしばらく漬け置きし、こすり洗いする 特にグリースの場合は十分にこすり洗いをする
自社のタンクローリーの清掃	希釈液2倍にさらに薄めてから通常のシャンプーと同じように使用する スプレー洗車機がある場合はシャンプー代わりとして使用するとさらに効果的です
定期的なピット室の清掃	希釈液を散布しデッキブラシで洗い流す。 高圧洗浄機を使用の場合は20倍希釈液での使用が効果的です
セールスルームの清掃	バケツに希釈液を用意して雑巾で拭きあげる 靴の油汚れ跡もブラッシングすると汚れが落ちます
雨天のドライブウェイの油紋	希釈液を2-3倍に薄めて、油紋が出ている場所に散布すると油紋が消えます
大型車の洗車後の処理	希釈液を2-3倍に薄めて、洗車後にでる、油泥に散布して洗い流す スプレー洗車機を使用すると便利です
グリスストラップの油泥処理	油水分離槽より泥を汲み上げアースガイアクリーンを散布して水を掛ける、これを数回繰り返して油抜きをすると空き地に等に泥を捨てることも可能です
軍手・つなぎ等の洗濯 洗車タオル	希釈液を入れたバケツ等に浸け置きをして油分を抜いてから通常の洗剤で洗うと効果的です。油のシミはよく落ちます
その他の使用例	サービス用のガラス洗浄液として30倍希釈液で吹き上げるとコストダウンが可能です (油膜取りの効果もえられます)
流出した場合の対応	すぐに吸着マット等を敷き油を吸い上げる。その際アースガイアクリーンを散布する 流出油の量に対して希釈したアースガイアクリーンを、約3倍の量を散布する 浮上油がある場合は繰り返しアースガイアクリーンを散布する
アースガイアクリーンの効果	GS・整備工場等で常時使用する事により、ピット室での床のヌメリはなくなり、または排水溝等に油分が付着しなくなります。アースガイアクリーンを常時使用する事によってグリスストラップでの油が溜まりづらくなります

二次汚染防止洗剤 『アースガイアクリーン』

使用説明書

ガソリン、軽油、灯油、オイル等鉱物油対象。
 散布する場合は、市販の噴霧器を使用ください。
 (できる限り、油を回収してから使用する)

オイル交換等で油をこぼした場合(コンクリート、アスファルト、敷き鉄板の上)	少量の場合は10希釈液を吹きかけて、ブラッシングした後にウエス等で拭き取る。量が多い場合は、吸着マット等でオイル回収後、アースガイアクリーンを散布し、ブラッシングしながら大量の水で洗い流して下さい。アスファルト舗装路の場合、油のシミ跡が残る場合があります。
部品、工具類の洗浄	バケツ等に10～15倍希釈液を入れ、工具類を数分漬け置きし、擦り洗いをする。特にグリスの場合は十分に擦り洗いをする。
使用済みオイル缶の洗浄	オイル缶内の油をウエス等で拭き取り、10～15倍希釈液を約3分の1程度入れ、十分に擦り洗いをして下さい。油の種類によっては2～3回洗浄が必要がある場合もあります。
大型車や重機の洗車	15倍希釈液をバケツ等に入れて洗車ブラシ等で洗車して下さい。又、高圧洗車機の場合は、20～30倍希釈でご使用下さい。落ち具合に応じて希釈率を変えてみてください。(40℃以下での使用)
洗車後に出た油処理又は、雨天時の水溜りの油紋処理	洗車後に出た浮上油や、雨天時の油紋には、20～30倍希釈液を準備し散布してください。この時、噴霧器や高圧洗浄器を使用すると便利です。
現地で作業する時(土壌への漏れ)	現地での修理作業やオイル交換等で油をこぼしてしまった時等に備え、あらかじめポリ容器等に10倍希釈を作り、サービスカーに積んで置くが良い。除去方法については、別紙の作業手順書を参考して下さい。
油流出事故の場合	流出事故の場合は、現場の状況や環境がさまざまなため、別紙の作業手順書を参考に作業してください。 ※ 中和剤との併用はしないで下さい。また、一度乳化したオイルはアースガイアクリーンを使用しても元には戻りません。
油の付着した軍手や作業着の洗濯	アースガイアクリーンの原液をコップ2分の1程度洗濯機に入れ洗濯してください 油分は良く落ちますが、黒いシミが残る場合があります。 また、他の洗濯洗剤と併用もできます。

参 考	現在、国や地方自治体等では、事業者に対して環境問題に真剣に取り組むよう、指導を強化しています。 全ての事業者に対してISOの取得を推進しています。 (噴霧器・高圧洗浄器と一緒に設置することを推奨します)
使用上の注意	注意:濁水排水処理で使用する場合は各自治体・関係諸官庁・関係組合等の許可を受けてからご使用ください。